



収 受	
令和	-7. 6. 20
 吹 田 市	
環境保全指導課	

様式第二号の九（第八条の四の六関係）（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月19日

吹田市長 様

提出者

住所 大阪府大阪市中央区本町3-5-7 /
氏名 清水建設株式会社 関西支店 /
専務執行役員支店長 山下 浩一 /
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 06-6263-2846

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	清水建設株式会社 関西支店 (吹田市管轄内事業場)		
事業場の所在地	吹田市管轄区域内		
事業の種類	06 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	508.000 t	全処理委託量	508.000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	優良認定処理業者への処理委託量	119.000 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	再生利用業者への処理委託量	351.000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

計画の実施状況計画の実施状況		(産業廃棄物の種類)	
有価物量有価物量		別紙3のとおり	
不要物等発生量不要物等発生量		① 排出量	
② 自ら直接発生利用した量 ③ 自ら直接発生利用した量 ④ 自ら直接発生利用した量		② 自ら直接発生利用した量 ③ 自ら直接発生利用した量 ④ 自ら直接発生利用した量	
⑤ 自ら中間処理を行った量 ⑥ 自ら中間処理を行った量 ⑦ 自ら中間処理を行った量		⑤ 自ら中間処理を行った量 ⑥ 自ら中間処理を行った量 ⑦ 自ら中間処理を行った量	
⑧ ⑨ ⑩ ⑪		⑧ ⑨ ⑩ ⑪	
⑫ ⑬ ⑭ ⑮		⑫ ⑬ ⑭ ⑮	
⑯ ⑰ ⑱ ⑲		⑯ ⑰ ⑱ ⑲	
⑳ ㉑ ㉒ ㉓		⑳ ㉑ ㉒ ㉓	
㉔ ㉕ ㉖ ㉗		㉔ ㉕ ㉖ ㉗	
㉘ ㉙ ㉚ ㉛		㉘ ㉙ ㉚ ㉛	
㉜ ㉝ ㉞ ㉟		㉜ ㉝ ㉞ ㉟	
㊱ ㊲ ㊳ ㊴		㊱ ㊲ ㊳ ㊴	
㊵ ㊶ ㊷ ㊸		㊵ ㊶ ㊷ ㊸	
㊹ ㊺ ㊻ ㊼		㊹ ㊺ ㊻ ㊼	
㊽ ㊾ ㊿		㊽ ㊾ ㊿	

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(2024年度実績)

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	コード	名 称	計 画 の 実 施 状 況										⑩の④のうち 熱回収認定 事業者への 処理委託量 (熱回収認定 事業者への 処理委託量)				⑪+⑫ 自ら再生利 用を行った 量		⑬+⑭ 自ら埋立処 分又は海洋 投入処分を 行った量	
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤④のうち 熱回収を行 った量 (自ら熱回収 を行った量)	⑥自ら中間 処理した後 の残存量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後 自ら埋立処 分又は海洋 投入処分し た量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量 (全処理委託 量)	⑪⑩のうち 熱回収認定 事業者への 処理委託量 (熱回収認定 事業者への 処理委託量)	⑫⑩のうち 再生利用業 者への処理 委託量(再生 利用業者へ の処理委託 量)	⑬⑩のうち 熱回収認定 事業者への 処理委託量 (熱回収認定 事業者への 処理委託量)	⑭⑩のうち 熱回収認定 事業者以外 の熱回収を 行う業者へ の処理委託 量(熱回収認 定業者以外 の熱回収を 行う業者へ の処理委託 量)	⑮⑩のうち 熱回収認定 事業者以外 の熱回収を 行う業者へ の処理委託 量(熱回収認 定業者以外 の熱回収を 行う業者へ の処理委託 量)	⑯⑩のうち 熱回収認定 事業者以外 の熱回収を 行う業者へ の処理委託 量(熱回収認 定業者以外 の熱回収を 行う業者へ の処理委託 量)	⑰⑩のうち 熱回収認定 事業者以外 の熱回収を 行う業者へ の処理委託 量(熱回収認 定業者以外 の熱回収を 行う業者へ の処理委託 量)	⑱⑩のうち 熱回収認定 事業者以外 の熱回収を 行う業者へ の処理委託 量(熱回収認 定業者以外 の熱回収を 行う業者へ の処理委託 量)
100	燃え殻								0.000									0.000	0.000	
200	汚泥								0.000									0.000	0.000	
300	廃油								0.000									0.000	0.000	
400	硫酸								0.000									0.000	0.000	
500	炭アルカリ								0.000									0.000	0.000	
600	炭プラスチック								0.000									0.000	0.000	
700	紙くず								0.000									0.000	0.000	
800	木くず								0.000									0.000	0.000	
900	樹皮くず								0.000									0.000	0.000	
1000	動植物性残渣								0.000									0.000	0.000	
1100	ゴムくず								0.000									0.000	0.000	
1200	金属くず								0.000									0.000	0.000	
1300	ガラスくず・コンク リートくず及び陶磁 器くず								0.000									0.000	0.000	
1400	紙さい								0.000									0.000	0.000	
1500	がれき類		23.680						0.000			23.680	23.680					0.000	0.000	
1501	コンクリート破片		50.000						0.000			50.000	50.000					0.000	0.000	
1502	アスコン破片		32.000						0.000			32.000	32.000					0.000	0.000	
1700	動物の死体								0.000									0.000	0.000	
1800	ばいじん								0.000									0.000	0.000	
2020	管理型建設系混合 産業物		7.410						0.000			7.410	6.760					0.000	0.000	
									0.000									0.000	0.000	
									0.000									0.000	0.000	
									0.000									0.000	0.000	
									0.000									0.000	0.000	
									0.000									0.000	0.000	
合計			113.090	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	113.090	30.440	82.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。

※数量に關しては、小数点以下の桁表示として記入してください。

様式第二号の九の第三面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①～⑩)に示す量を表に入力。